

**アンケート調査関連資料Ⅳ-2 2012（平成24）年度
「経営学部 授業科目についてのアンケート」の調査票**

平成24年度「経営学部・経営学研究科 授業科目についてのアンケート」の調査票

- アンケート回答用紙への記入の仕方について
 ・ 黒鉛筆(FHB)のいずれかで口枠からはみださないように丁寧に記入して下さい。
 ・ 間違っただけには消しゴムで消しあとが残らないように訂正して下さい。

記入例： 良い例 悪い例

学部 _____ 学部 _____ 学年 _____ 年 _____

授業科目名 _____

教員名 _____

以下の質問項目について、最も当てはまると思われる選択肢1つをのみ口枠内にチェックして下さい。

- | | | | | | |
|-----------------------------|----------------------------------|--|---|--|------------------------------------|
| 1. 授業全体がうまく構成されていた。 | <input type="checkbox"/> 5(そう思う) | <input type="checkbox"/> 4(どちらかといえば
そう思う) | <input type="checkbox"/> 3(どちらとも
いえない) | <input type="checkbox"/> 2(どちらかといえば
そう思わない) | <input type="checkbox"/> 1(そう思わない) |
| 2. 授業内容がシラバスに沿っていた。 | <input type="checkbox"/> 5(そう思う) | <input type="checkbox"/> 4(どちらかといえば
そう思う) | <input type="checkbox"/> 3(どちらとも
いえない) | <input type="checkbox"/> 2(どちらかといえば
そう思わない) | <input type="checkbox"/> 1(そう思わない) |
| 3. 成績評価の方法と基準を明確にしていた。 | <input type="checkbox"/> 5(そう思う) | <input type="checkbox"/> 4(どちらかといえば
そう思う) | <input type="checkbox"/> 3(どちらとも
いえない) | <input type="checkbox"/> 2(どちらかといえば
そう思わない) | <input type="checkbox"/> 1(そう思わない) |
| 4. 担当教員は熱心であった。 | <input type="checkbox"/> 5(そう思う) | <input type="checkbox"/> 4(どちらかといえば
そう思う) | <input type="checkbox"/> 3(どちらとも
いえない) | <input type="checkbox"/> 2(どちらかといえば
そう思わない) | <input type="checkbox"/> 1(そう思わない) |
| 5. 担当教員の説明はわかりやすかった。 | <input type="checkbox"/> 5(そう思う) | <input type="checkbox"/> 4(どちらかといえば
そう思う) | <input type="checkbox"/> 3(どちらとも
いえない) | <input type="checkbox"/> 2(どちらかといえば
そう思わない) | <input type="checkbox"/> 1(そう思わない) |
| 6. 質問への担当教員からの対応は適切であった。 | <input type="checkbox"/> 5(そう思う) | <input type="checkbox"/> 4(どちらかといえば
そう思う) | <input type="checkbox"/> 3(どちらとも
いえない) | <input type="checkbox"/> 2(どちらかといえば
そう思わない) | <input type="checkbox"/> 1(そう思わない) |
| 7. 教材・資料等の利用が効果的だった。 | <input type="checkbox"/> 5(そう思う) | <input type="checkbox"/> 4(どちらかといえば
そう思う) | <input type="checkbox"/> 3(どちらとも
いえない) | <input type="checkbox"/> 2(どちらかといえば
そう思わない) | <input type="checkbox"/> 1(そう思わない) |
| 8. 自分自身で論理的に考える手助けに
なった。 | <input type="checkbox"/> 5(そう思う) | <input type="checkbox"/> 4(どちらかといえば
そう思う) | <input type="checkbox"/> 3(どちらとも
いえない) | <input type="checkbox"/> 2(どちらかといえば
そう思わない) | <input type="checkbox"/> 1(そう思わない) |
| 9. この分野の知識が身についた。 | <input type="checkbox"/> 5(そう思う) | <input type="checkbox"/> 4(どちらかといえば
そう思う) | <input type="checkbox"/> 3(どちらとも
いえない) | <input type="checkbox"/> 2(どちらかといえば
そう思わない) | <input type="checkbox"/> 1(そう思わない) |
| 10. 全体的に判断して良い担当教員だった。 | <input type="checkbox"/> 5(そう思う) | <input type="checkbox"/> 4(どちらかといえば
そう思う) | <input type="checkbox"/> 3(どちらとも
いえない) | <input type="checkbox"/> 2(どちらかといえば
そう思わない) | <input type="checkbox"/> 1(そう思わない) |

Q10の答えの理由を書いて下さい。

- | | | | | | |
|----------------------|----------------------------------|--|---|--|------------------------------------|
| 11. 全体的に判断して良い授業だった。 | <input type="checkbox"/> 5(そう思う) | <input type="checkbox"/> 4(どちらかといえば
そう思う) | <input type="checkbox"/> 3(どちらとも
いえない) | <input type="checkbox"/> 2(どちらかといえば
そう思わない) | <input type="checkbox"/> 1(そう思わない) |
|----------------------|----------------------------------|--|---|--|------------------------------------|

Q11の答えの理由を書いて下さい。

12. この授業に何回出席しましたか。 回 13. この授業のために週に平均何時間勉強しましたか。 時間

ご協力ありがとうございました。なお、神戸大学全学でもwebアンケートを実施しておりますので、ご協力をお願い致します。
 うりばーネットにログイン後、「アンケート」→「アンケート回答」から画面に従ってご回答ください。

アンケート調査関連資料V-1 2009（平成21）年度
「大学院授業に関するアンケート調査」の調査票

平成21年度後期実施

大学院授業に関するアンケート調査

神戸大学大学院経営学研究科
研究科評価委員会

<記入上の注意事項>

1. 本アンケートは、神戸大学大学院経営学研究科教育の実態とその教育効果を明らかにし、その改善に役立てることを目的としています。アンケートの結果は、経営学研究科が行う自己評価の重要なデータ資料としてのみ活用させていただきます。
2. 回答結果は、全体的な特徴と傾向を公表するだけで、個別情報を公表することは一切ありませんので、率直なご意見をお書き下さい。
3. 一部分しか回答できなくても、貴重な資料として活用しますので、是非回答して下さい。
4. なお、回答は無記名とします。

I あなたの経歴について、該当する番号に○を付けてください。

I-1 あなたは留学生ですか。

- ① いいえ ② はい

I-2 神戸大学大学院への入学方法および時期（西暦）をお尋ねします。

- ① 博士前期課程一般入試 (年度)
② 専門職学位課程社会人選抜 (年度)
③ 博士前期課程外国人特別選抜 (年度)
④ 博士後期課程編入学 (年度)
⑤ 博士後期課程社会人特別編入学 (年度)
⑥ 研究生 (年度)
⑦ その他 (年度)

I-3 出身学部および出身大学院をお聞きします。I-2 で①, ②, ③と答えられた方は学部名, ④, ⑤と答えられた方は前期課程または修士課程についてお答えください。

- ① 経営・経済系（商学を含む） ② 他の文科系 ③ 理科系

I-4 I-2 で①, ②または③と答えられた方について、入学の動機は何ですか。もっとも当てはまるものに1つ○をつけてください。

- ① 研究者志望
② 資格取得（公認会計士・税理士等）
③ 高度専門職業知識を学ぶため
④ 学部卒業時に就職がなかったため
⑤ MBA の取得
⑥ その他 ()

II 授業内容・方法について

授業科目名	
-------	--

II-1 この授業の内容についてお聞きします。現時点での状況を次の5段階から選び、該当する番号を括弧内に記入してください。

5. 全くそう思う 4. どちらかと言えばそう思う 3. どちらとも言えない
2. どちらかと言えばそう思わない 1. 全くそう思わない

- ① 扱った問題領域は適当だった。 ()
- ② 内容のレベルの高さは適当だった。 ()
- ③ 単位修得は難しそうである。 ()
- ④ 自らにとって有用な内容であった。 ()

II-2 授業の進め方に関する次の各項目についてお聞きします。現時点での状況を次の 5 段階から選び、該当する番号を括弧内に記入してください。

- | | | |
|-------------------|-----------------|--------------|
| 5. 全くそう思う | 4. どちらかと言えばそう思う | 3. どちらとも言えない |
| 2. どちらかと言えばそう思わない | 1. 全くそう思わない | |

- ① 教員の熱意が感じられた。 ()
- ② 講義要綱の授業のテーマと目標は達成された。 ()
- ③ 授業の内容はシラバスの内容と整合していた。 ()
- ④ 教官の説明内容を理解できた。 ()
- ⑤ 授業方式 (進め方, プレゼンテーション) は適切であった。 ()
- ⑥ 資料やテキストは適切であった。 ()
- ⑦ 成績評価の基準は明確だった。 ()
- ⑧ 履修人数 (授業の規模) は適当だった。 ()
- ⑨ この授業は全体として満足できる。 ()
- ⑩ この授業は英語で行ってほしかった。 ()

II-3 授業の方法について、この授業が複数の教官によるオムニバス形式で開講されている場合のみお答えください。

オムニバス形式での授業方法について、あなたの考えをお答えください。また、その理由を簡潔にお答えください。

- ①オムニバス形式に賛成 ②オムニバス形式に反対 ③どちらともいえない。

理由

II-4 この授業ではTAによるサポートがありましたか。いずれかの番号に○印をおつけください。

- ① TAによるサポートがあった。
- ② TAによるサポートはなかった。

II-5 前問 II-4 で「① TAによるサポートがあった。」と回答された方にお聞きします。TAによるサポートに満足しましたか。次の 5 段階から選び、該当する番号に○印をおつけください。

5. 非常に満足 4. どちらかと言えば満足 3. どちらとも言えない
2. どちらかと言えば不満足 1. 非常に不満足

また、「2. どちらかと言えば不満足」または「1. 非常に不満足」と回答された場合、その理由を簡潔に記入してください。

理由

II-6 次の各項目について、あなたにとっての重要性と現在の満足度を次の 5 段階から選び、該当する番号を記入してください。

なお、本問への回答について、すでに他の授業の際にアンケートに回答を行った場合には、この授業の「講義室の環境」についてのみお答えください。

5. 非常に重要／満足 4. どちらかと言えば重要／満足 3. どちらとも言えない
2. どちらかと言えば重要ではない／不満足 1. 全く重要ではない／非常に不満足

	重要性	満足度
研究室の環境		
講義室の環境		
図書館の環境		
情報処理室の環境		
キャンパスの環境		
事務手続の環境		
奨学金制度・授業料免除制度による支援		
学習・生活相談		

※ その他ご意見があれば、ご自由にお書きください。

--

**アンケート調査関連資料V-2 2012（平成24）年度
「経営学研究科 授業科目についてのアンケート」の調査票**

平成24年度「経営学部・経営学研究科 授業科目についてのアンケート」の調査票

- アンケート回答用紙への記入の仕方について
 ・ 黒鉛筆(FHB)のいずれかで□枠からはみださないように丁寧に記入して下さい。
 ・ 間違っただけには消しゴムで消しあとが残らないように訂正して下さい。

記入例： 良い例 悪い例

学部 _____ 学部 _____ 学年 _____ 年 _____

授業科目名 _____ 教員名 _____

以下の質問項目について、最も当てはまると思われる選択肢1つだけの□枠内にチェックして下さい。

- | | | | | | |
|--------------------------|----------------------------------|--|---------------------------------------|--|------------------------------------|
| 1. 授業全体がうまく構成されていた。 | <input type="checkbox"/> 5(そう思う) | <input type="checkbox"/> 4(どちらかといえばそう思う) | <input type="checkbox"/> 3(どちらともいえない) | <input type="checkbox"/> 2(どちらかといえばそう思わない) | <input type="checkbox"/> 1(そう思わない) |
| 2. 授業内容がシラバスに沿っていた。 | <input type="checkbox"/> 5(そう思う) | <input type="checkbox"/> 4(どちらかといえばそう思う) | <input type="checkbox"/> 3(どちらともいえない) | <input type="checkbox"/> 2(どちらかといえばそう思わない) | <input type="checkbox"/> 1(そう思わない) |
| 3. 成績評価の方法と基準を明確にしていた。 | <input type="checkbox"/> 5(そう思う) | <input type="checkbox"/> 4(どちらかといえばそう思う) | <input type="checkbox"/> 3(どちらともいえない) | <input type="checkbox"/> 2(どちらかといえばそう思わない) | <input type="checkbox"/> 1(そう思わない) |
| 4. 担当教員は熱心であった。 | <input type="checkbox"/> 5(そう思う) | <input type="checkbox"/> 4(どちらかといえばそう思う) | <input type="checkbox"/> 3(どちらともいえない) | <input type="checkbox"/> 2(どちらかといえばそう思わない) | <input type="checkbox"/> 1(そう思わない) |
| 5. 担当教員の説明はわかりやすかった。 | <input type="checkbox"/> 5(そう思う) | <input type="checkbox"/> 4(どちらかといえばそう思う) | <input type="checkbox"/> 3(どちらともいえない) | <input type="checkbox"/> 2(どちらかといえばそう思わない) | <input type="checkbox"/> 1(そう思わない) |
| 6. 質問への担当教員からの対応は適切であった。 | <input type="checkbox"/> 5(そう思う) | <input type="checkbox"/> 4(どちらかといえばそう思う) | <input type="checkbox"/> 3(どちらともいえない) | <input type="checkbox"/> 2(どちらかといえばそう思わない) | <input type="checkbox"/> 1(そう思わない) |
| 7. 教材・資料等の利用が効果的だった。 | <input type="checkbox"/> 5(そう思う) | <input type="checkbox"/> 4(どちらかといえばそう思う) | <input type="checkbox"/> 3(どちらともいえない) | <input type="checkbox"/> 2(どちらかといえばそう思わない) | <input type="checkbox"/> 1(そう思わない) |
| 8. 自分自身で論理的に考える手助けになった。 | <input type="checkbox"/> 5(そう思う) | <input type="checkbox"/> 4(どちらかといえばそう思う) | <input type="checkbox"/> 3(どちらともいえない) | <input type="checkbox"/> 2(どちらかといえばそう思わない) | <input type="checkbox"/> 1(そう思わない) |
| 9. この分野の知識が身についた。 | <input type="checkbox"/> 5(そう思う) | <input type="checkbox"/> 4(どちらかといえばそう思う) | <input type="checkbox"/> 3(どちらともいえない) | <input type="checkbox"/> 2(どちらかといえばそう思わない) | <input type="checkbox"/> 1(そう思わない) |
| 10. 全体的に判断して良い担当教員だった。 | <input type="checkbox"/> 5(そう思う) | <input type="checkbox"/> 4(どちらかといえばそう思う) | <input type="checkbox"/> 3(どちらともいえない) | <input type="checkbox"/> 2(どちらかといえばそう思わない) | <input type="checkbox"/> 1(そう思わない) |

Q10の答えの理由を書いて下さい。

- | | | | | | |
|----------------------|----------------------------------|--|---------------------------------------|--|------------------------------------|
| 11. 全体的に判断して良い授業だった。 | <input type="checkbox"/> 5(そう思う) | <input type="checkbox"/> 4(どちらかといえばそう思う) | <input type="checkbox"/> 3(どちらともいえない) | <input type="checkbox"/> 2(どちらかといえばそう思わない) | <input type="checkbox"/> 1(そう思わない) |
|----------------------|----------------------------------|--|---------------------------------------|--|------------------------------------|

Q11の答えの理由を書いて下さい。

12. この授業に何回出席しましたか。 回 13. この授業のために週に平均何時間勉強しましたか。 時間

ご協力ありがとうございました。なお、神戸大学全学でもwebアンケートを実施しておりますので、ご協力をお願い致します。
 うりばーネットにログイン後、「アンケート」→「アンケート回答」から画面に従ってご回答ください。

アンケート調査関連資料X-1「外部評価回答用紙（学部教育）」

外部評価回答用紙

同封致しました資料，（お時間があればホームページ（<http://www.b.kobe-u.ac.jp/>）所収の情報）及び外部評価委員会当日の質疑応答を踏まえて，以下の項目に関して，達成の程度について5段階でお答え下さい。資料から判断できない項目に関しては，「資料からは判断できない」（回答欄には，「？」と記入）としてください。

補足のコメントがございましたら，コメント欄にご記入ください。

なお，自己評価報告書への掲載方法として，学部教育についての項目1～9を匿名とし，10の総合評価については，外部評価委員の方のお名前を自己評価報告書に記載させていただきたいと思えます。

【評価尺度】

1	2	3	4	5	?
+	+	+	+	+	
まったく そう思わ ない	あまり そう思わ ない	どちらとも いえない	やや そう思う	まったく そう思う	資料だけでは 判断できない

学部教育について

1. 教育の目的

- (1) 教育を行うに当たっての基本的な方針や，養成しようとする人材像を含めた，達成しようとする基本的な成果等が，明確に定められている。[]
- (2) 教育の目的が，教職員及び学生に周知されている。[]
- (3) 目的が，社会に広く公表されている。[]

2. 教育組織（実施体制）

- (1) 教育組織が教育の目的を達成する上で適切なものとなっている。[]
- (2) 教授会等が，教育活動に関わる重要事項を審議するための必要な活動を行っている。[]
- (3) 教育課程や教育方法等を検討する教務委員会等の組織が，適切な構成となっている。必要な回数の会議を開催し，実質的な検討が行われている。[]

3. 教員及び教育支援者

- (1) 教員組織編成のための基本方針を有しており、それに基づいた教員組織編成がなされている。[]
- (2) 教育を遂行するために必要な教員が確保されている。[]
- (3) 必要な専任教員が確保されている。[]
- (4) 学生の研究のために必要な研究指導教員及び研究指導補助教員が確保されている。[]
- (5) 教員組織の活動をより活性化するための適切な措置（例えば、年齢及び性別のバランスへの配慮、外国人教員の確保、任期制や公募制の導入など）が講じられている。[]
- (6) 教員の採用基準や昇格基準等が明確かつ適切に定められ、適切に運用されている。特に、教育上の指導能力の評価が行われている。[]
- (7) 教員の教育活動に関する定期的な評価が組織的に行われ、教員組織の編成への反映等、具体的かつ継続的な方策が講じられている。[]
- (8) 教育の目的を達成するための基礎として、教育内容等と関連する研究活動が行われている。[]
- (9) 教育上必要な事務職員が適切に配置されている。また、TA 等の教育補助者の活用が図られている。[]

4. 学生の受入

- (1) 教育の目的に沿って、求める学生像や入学者選抜の基本方針等が記載されたアドミッション・ポリシーが明確に定められ、公表、周知されている。[]
- (2) アドミッション・ポリシーに沿って適切な学生の受入方法が採用されており、実質的に機能している。[]
- (3) 入学者選抜が適切な実施体制により、公正に実施されている。[]
- (4) アドミッション・ポリシーに沿った学生の受入が実際に行われているかどうかを検証するための取り組みが行われており、その結果を入学者選抜の改善に役立っている。[]
- (5) 実入学者数が、入学定員を大幅に超える、又は大幅に下回る状況になっていないか。また、その場合には、これを改善するための取り組みが行われるなど、入学定員と実入学者数との関係の適正化が図られてる。[]

5. 教育内容及び方法（学部）

- (1) 教育の目的や授与される学位に照らして、授業科目が適切に配置され（必修科目・選択必修科目として設定されている科目、選択科目の配当等）、教育課程が体系的に編成されている。[]

- (2) 授業の内容が、全体として教育課程の編成の趣旨に沿ったものになっている。
〔 〕
- (3) 授業の内容が、全体として教育を達成するための基礎となる研究の成果を反映した
ものとなっている。〔 〕
- (4) 学生の多様なニーズ、学術の発展動向、社会からの要請等に対応した教育課程の編
成（例えば、他学部の授業科目の履修、他大学との単位互換、編入学への配慮、博
士前期課程教育との連携等が考えられる）に配慮している。〔 〕
- (5) 単位の実質化（授業時間外の学習時間の確保、組織的な履修指導、履修科目の登録
の上限設定など、学生の主体的な学習を促し、十分な学習時間を確保するような工
夫）への配慮がなされている。〔 〕
- (6) 教育の目的に照らして、講義、演習等の授業形態の組合せ・バランスが適切であり、
それぞれの教育内容に応じた適切な学習指導法の工夫がなされている（例えば、少
人数授業、対話・討論型授業、フィールド型授業、多様なメディアを高度に利用し
た授業、情報機器の活用、TAの活用等が考えられる）。〔 〕
- (7) 教育課程の編成の趣旨に沿って適切なシラバスが作成され、活用されている。
〔 〕
- (8) 自主学習への配慮、基礎学力不足の学生への配慮等が組織的に行われている。
〔 〕
- (9) 教育の目的に応じた成績評価基準や卒業認定基準が組織として策定され、学生に周
知されている。〔 〕
- (10) 成績評価基準や卒業認定基準に従って、成績評価、単位認定、卒業認定が適切に実
施されている。〔 〕
- (11) 成績評価等の正確性を担保するための措置が講じられている。〔 〕

6. 教育の成果

- (1) 学生が身につける学力、資質・能力や養成しようとする人材像等についての方針
が明らかにされており、その達成状況を検証・評価するための適切な取り組みが
行われている。〔 〕
- (2) 各学年や卒業（修了）時等において学生が身につける学力や資質・能力について、
単位修得、進級、卒業（修了）の状況等から、あるいは、卒業（修了）論文等の
内容・水準から判断して、教育の成果や効果が上がっている。〔 〕
- (3) 学生からの意見聴取の結果から見て、成果や効果が上がっている。〔 〕
- (4) 教育の目的で意図している養成しようとする人材像等について、就職や進学とい
った卒業（修了）後の進路の状況等の実績や成果について定量的な面も含めて判
断し、教育の成果や効果が上がっている。〔 〕
- (5) 卒業（修了）生や、就職先等の関係者からの意見聴取の結果から見て、教育の成

果や効果が上がっている。〔 〕

7. 学生支援等および施設・設備

- (1) 授業科目や専門、所属ゼミナールの選択の際のガイダンスが適切に実施されている。〔 〕
- (2) 学習相談、助言（例えば、オフィスアワーの設定、電子メールの活用、担任制等が考えられる）が適切に行われている。〔 〕
- (3) 学習支援に関する学生のニーズが適切に把握されている。〔 〕
- (4) 特別な支援を行うことが必要と考えられる者（例えば、留学生、編入学生、障害のある学生等が考えられる）への学習支援が適切に行える状況にある。また、必要に応じて学習支援が行われている。〔 〕
- (5) 自主的学習環境（例えば、自習室、グループ討論室、情報機器室等）が十分に整備され、効果的に利用されている。〔 〕
- (6) 学生のサークル活動や自治活動等の課外活動が円滑に行われるよう、支援が適切に行われている。〔 〕
- (7) 学生の健康相談、生活相談、進路相談、各種のハラスメントの相談等のために、必要な相談・助言体制が整備され、機能している。〔 〕
- (8) 生活支援等に関する学生のニーズが適切に把握されている。〔 〕
- (9) 特別な支援を行うことが必要と考えられる者（例えば、留学生、編入学生、障害のある学生等が考えられる）への生活支援等が適切に行える状況にある。また、必要に応じて生活支援が行われている。〔 〕
- (10) 学生の経済面への援助（例えば、奨学金、授業料免除等が考えられる）が適切に行われている。〔 〕
- (11) 教育課程の実現にふさわしい施設・設備（例えば、講義室、演習室、情報処理学習施設、図書館など）が整備され、有効に活用されている、また、施設・設備のバリアフリー化への配慮がなされている。〔 〕
- (12) 教育内容、方法や学生のニーズを満たす情報ネットワークが適切に整備され、有効に活用されている。〔 〕
- (13) 施設・設備の運用に関する方針が明確に規定され、構成員にも周知されている。〔 〕
- (14) 図書、学術雑誌、視聴覚資料その他の教育上必要な資料が系統的に整備され、有効に活用されている。〔 〕

8. 教育の質の向上及び改善のためのシステム

- (1) 教育の状況について、活動の実態を示すデータや資料を適切に収集し、蓄積している。〔 〕

- (2) 学生の意見の聴取（例えば、授業評価、満足度評価、学習環境評価等が考えられる）が行われており、教育の状況に関する自己点検・評価に適切な形で反映されている。[]
- (3) 学外関係者（例えば、卒業（修了）生、就職先等の関係者等が考えられる）の意見が、教育の状況に関する自己点検・評価に適切な形で反映されている。[]
- (4) 評価結果がフィードバックされ、教育の質の向上、改善のための取り組みが行われ、教育課程の見直しの具体的かつ継続的な方策が講じられている。[]
- (5) 個々の教員は、評価結果に基づいて、それぞれの質の向上を図るとともに、授業内容、教材、教授技術等の継続的改善を行っている。[]
- (6) ファカルティ・ディベロップメントについて、学生や教職員のニーズが反映されており、組織として適切な方法で実施されている。[]
- (7) ファカルティ・ディベロップメントが、教育の質の向上や授業の改善に結びついている。[]
- (8) 教育支援者や教育補助者に対して、教育活動の向上を図るための研修等、その資質の向上を図るための取り組みが適切になされている。[]

9. 項目ごとのコメント

- (1) 以下の項目のうち、すぐれていると思われる項目すべてに○をつけて、
 a) そう思われる理由、b) そのすぐれている点をさらによくするためのご意見やアイデアを記述してください。

- 1 教育の目的 2 教育組織（実施体制） 3 教員及び教育支援者
- 4 学生の受け入れ 5 教育内容及び方法 6 教育の成果
- 7 学生支援等および施設・設備 8 教育の質の向上及び改善のためのシステム

(2) 以下の項目のうち、改善を要すると思われる項目すべてに○をつけて、
a) そう思われる理由、b) どのように改善すればよいか、ご意見やアイデアを
記述してください。

- | | | |
|-----------------|-----------------------|-------------|
| 1 教育の目的 | 2 教育組織（実施体制） | 3 教員及び教育支援者 |
| 4 学生の受け入れ | 5 教育内容及び方法 | 6 教育の成果 |
| 7 学生支援等および施設・設備 | 8 教育の質の向上及び改善のためのシステム | |

()

10. 総合評価（項目ごとの達成状況をふまえて、総合評価をお願いします。特定の項目についてのコメントは、上記の項目ごとの評価欄にご記入ください）

()

外部評価委員名 _____

外部評価回答用紙

同封致しました資料，（お時間があればホームページ（<http://www.b.kobe-u.ac.jp/>）所収の情報）及び外部評価委員会当日の質疑応答を踏まえて，以下の項目に関して，達成の程度について5段階でお答え下さい。資料から判断できない項目に関しては，「資料からは判断できない」（回答欄には，「？」と記入）としてください。

補足のコメントがございましたら，コメント欄にご記入ください。

なお，自己評価報告書への掲載方法として，PhD教育についての項目1～9を匿名とし，10の総合評価については，外部評価委員の方のお名前を自己評価報告書に記載させていただきたいと思えます。

【評価尺度】

1	2	3	4	5	?
+	+	+	+	+	
まったく そう思わ ない	あまり そう思わ ない	どちらとも いえない	やや そう思う	まったく そう思う	資料だけでは 判断できない

PhD教育について

1. 教育の目的

- (1) 教育を行うに当たっての基本的な方針や，養成しようとする人材像を含めた，達成しようとする基本的な成果等が，明確に定められている。[]
- (2) 教育の目的が，教職員及び学生に周知されている。[]
- (3) 目的が，社会に広く公表されている。[]

2. 教育組織（実施体制）

- (1) 教育組織が教育の目的を達成する上で適切なものとなっている。[]
- (2) 教授会等が，教育活動に関わる重要事項を審議するための必要な活動を行っている。[]
- (3) 教育課程や教育方法等を検討する教務委員会等の組織が，適切な構成となっている。必要な回数 of 会議を開催し，実質的な検討が行われている。[]

3. 教員及び教育支援者

- (1) 教員組織編成のための基本方針を有しており、それに基づいた教員組織編成がなされている。[]
- (2) 教育を遂行するために必要な教員が確保されている。[]
- (3) 必要な専任教員が確保されている。[]
- (4) 学生の研究のために必要な研究指導教員及び研究指導補助教員が確保されている。[]
- (5) 教員組織の活動をより活性化するための適切な措置（例えば、年齢及び性別のバランスへの配慮、外国人教員の確保、任期制や公募制の導入など）が講じられている。[]
- (6) 教員の採用基準や昇格基準等が明確かつ適切に定められ、適切に運用されている。特に、教育上の指導能力の評価が行われている。[]
- (7) 教員の教育活動に関する定期的な評価が組織的に行われ、教員組織の編成への反映等、具体的かつ継続的な方策が講じられている。[]
- (8) 教育の目的を達成するための基礎として、教育内容等と関連する研究活動が行われている。[]
- (9) 教育上必要な事務職員が適切に配置されている。また、TA等の教育補助者の活用が図られている。[]

4. 学生の受入

- (1) 教育の目的に沿って、求める学生像や入学者選抜の基本方針等が記載されたアドミッション・ポリシーが明確に定められ、公表、周知されている。[]
- (2) アドミッション・ポリシーに沿って適切な学生の受入方法が採用されており、実質的に機能している。[]
- (3) 入学者選抜が適切な実施体制により、公正に実施されている。[]
- (4) アドミッション・ポリシーに沿った学生の受入が実際に行われているかどうかを検証するための取り組みが行われており、その結果を入学者選抜の改善に役立っている。[]
- (5) 実入学者数が、入学定員を大幅に超える、又は大幅に下回る状況になっていないか。また、その場合には、これを改善するための取り組みが行われるなど、入学定員と実入学者数との関係の適正化が図られてる。[]

5. 教育内容及び方法 (PhD)

- (1) 教育の目的や授与される学位に照らして、教育課程が体系的に編成されており、目的とする学問分野や職業分野における期待にこたえるものになっている。[]
- (2) 授業の内容が、全体として教育課程の編成の趣旨に添ったものになっている。

- []
- (3) 授業の内容が、全体としての教育の目的を達成するための基礎となる研究の成果を反映したものとなっている。[]
 - (4) 単位の実質化（授業時間外の学習時間の確保，組織的な履修指導，履修科目の登録の上限設定など，学生の主体的な学習を促し，十分な学習時間を確保するような工夫）への配慮がなされている。[]
 - (5) 教育の目的に照らして，講義，演習等の授業形態の組合せ・バランスが適切であり，それぞれの教育内容に応じた適切な学習指導法の工夫がなされている（例えば，少人数授業，対話・討論型授業，フィールド型授業，多様なメディアを高度に利用した授業，情報機器の活用，TAの活用等が考えられる）。[]
 - (6) 教育課程の編成の趣旨に沿って適切なシラバスが作成され，活用されている。[]
 - (7) 教育課程の趣旨に沿った研究指導が行われている。[]
 - (8) 研究指導に対する適切な取り組み（例えば，複数教員による指導体制，研究テーマ決定に対する適切な指導，TA・RAとしての活動を通じた能力の育成，教育的機能の訓練等が考えられる）が行われている。[]
 - (9) 学位論文に係る指導体制が整備され，機能している。[]
 - (10) 教育の目的に応じた成績評価基準や修了認定基準が組織として策定され，学生に周知されている。[]
 - (11) 成績評価基準や修了認定基準に従って，成績評価，単位認定，修了認定が適切に実施されている。[]
 - (12) 学位論文に係る適切な審査体制が整備され，機能している。[]
 - (13) 成績評価等の正確性を担保するための措置が講じられている。[]

6. 教育の成果

- (1) 学生が身につける学力，資質・能力や要請しようとする人材像等についての方針が明らかにされており，その達成状況を検証・評価するための適切な取り組みが行われている。[]
- (2) 各学年や修了時等において学生が身につける学力や資質・能力について，単位修得，進級，修了の状況等から，あるいは，学位論文等の内容・水準から判断して，教育の成果や効果が上がっている。[]
- (3) 学生からの意見聴取の結果から見て，成果や効果が上がっている。[]
- (4) 教育の目的で意図している養成しようとする人材像等について，就職や進学といった修了後の進路の状況等の実績や成果について定量的な面も含めて判断し，教育の成果や効果が上がっている。[]
- (5) 修了生や，就職先等の関係者からの意見聴取の結果から見て，教育の成果や効果

が上がっている。〔 〕

7. 学生支援等および施設・設備

- (1) 授業科目や専門、所属ゼミナールの選択の際のガイダンスが適切に実施されている。〔 〕
- (2) 学習相談、助言（例えば、オフィスアワーの設定、電子メールの活用、担任制等が考えられる）が適切に行われている。〔 〕
- (3) 学習支援に関する学生のニーズが適切に把握されている。〔 〕
- (4) 特別な支援を行うことが必要と考えられる者（例えば、留学生、社会人学生、障害のある学生等が考えられる）への学習支援が適切に行える状況にある。また、必要に応じて学習支援が行われている。〔 〕
- (5) 自主的学習環境（例えば、自習室、グループ討論室、情報機器室等）が十分に整備され、効果的に利用されている。〔 〕
- (6) 学生のサークル活動や自治活動等の課外活動が円滑に行われるよう、支援が適切に行われている。〔 〕
- (7) 学生の健康相談、生活相談、進路相談、各種のハラスメントの相談等のために、必要な相談・助言体制が整備され、機能している。〔 〕
- (8) 生活支援等に関する学生のニーズが適切に把握されている。〔 〕
- (9) 特別な支援を行うことが必要と考えられる者（例えば、留学生、社会人学生、障害のある学生等が考えられる）への生活支援等が適切に行える状況にある。また、必要に応じて生活支援が行われている。〔 〕
- (10) 教育課程の実現にふさわしい施設・設備（例えば、講義室、演習室、情報処理学習施設、図書館など）が整備され、有効に活用されている。また、施設・設備のバリアフリー化への配慮がなされている。
- (11) 学生の経済面への援助（例えば、奨学金、授業料免除等が考えられる）が適切に行われている。〔 〕
- (12) 教育内容、方法や学生のニーズを満たす情報ネットワークが適切に整備され、有効に活用されている。〔 〕
- (13) 施設・設備の運用に関する方針が明確に規定され、構成員にも周知されている。〔 〕
- (14) 図書、学術雑誌、視聴覚資料その他の教育上必要な資料が系統的に整備され、有効に活用されている。〔 〕

8. 教育の質の向上及び改善のためのシステム

- (1) 教育の状況について、活動の実態を示すデータや資料を適切に収集し、蓄積している。〔 〕

- (2) 学生の意見の聴取（例えば、授業評価、満足度評価、学習環境評価等が考えられる）が行われており、教育の状況に関する自己点検・評価に適切な形で反映されている。〔 〕
- (3) 学外関係者（例えば、修了生、就職先等の関係者等が考えられる）の意見が、教育の状況に関する自己点検・評価に適切な形で反映されている。〔 〕
- (4) 評価結果がフィードバックされ、教育の質の向上、改善のための取り組みが行われ、教育課程の見直しの具体的かつ継続的な方策が講じられている。〔 〕
- (5) 個々の教員は、評価結果に基づいて、それぞれの質の向上を図るとともに、授業内容、教材、教授技術等の継続的改善を行っている。〔 〕
- (6) ファカルティ・ディベロップメントについて、学生や教職員のニーズが反映されており、組織として適切な方法で実施されている。〔 〕
- (7) ファカルティ・ディベロップメントが、教育の質の向上や授業の改善に結びついている。〔 〕
- (8) 教育支援者や教育補助者に対して、教育活動の向上を図るための研修等、その資質の向上を図るための取り組みが適切になされている。〔 〕

9. 項目ごとのコメント

- (1) 以下の項目のうち、すぐれていると思われる項目すべてに○をつけて、
a) そう思われる理由、b) そのすぐれている点をさらによくするためのご意見やアイデアを記述してください。

- 1 教育の目的 2 教育組織（実施体制） 3 教員及び教育支援者
- 4 学生の受け入れ 5 教育内容及び方法 6 教育の成果
- 7 学生支援等および施設・設備 8 教育の質の向上及び改善のためのシステム

(2) 以下の項目のうち、改善を要すると思われる項目すべてに○をつけて、
a) そう思われる理由、b) どのように改善すればよいか、ご意見やアイデアを
記述してください。

- | | | |
|-----------------|-----------------------|-------------|
| 1 教育の目的 | 2 教育組織（実施体制） | 3 教員及び教育支援者 |
| 4 学生の受け入れ | 5 教育内容及び方法 | 6 教育の成果 |
| 7 学生支援等および施設・設備 | 8 教育の質の向上及び改善のためのシステム | |

()

10. 総合評価（項目ごとの達成状況をふまえて、総合評価をお願いします。特定の項目についてのコメントは、上記の項目ごとの評価欄にご記入ください）

()

外部評価委員名 _____

外部評価回答用紙

同封致しました資料（お時間があればホームページ（<http://www.b.kobe-u.ac.jp/>）所収の情報）及び外部評価委員会当日の質疑応答を踏まえて、以下の項目に関して、達成の程度について5段階でお答え下さい。資料から判断できない項目に関しては、「資料からは判断できない」（回答欄には、「？」と記入）としてください。

補足のコメントがございましたら、コメント欄にご記入ください。

なお、自己評価報告書への掲載方法として、MBA教育についての項目1～9を匿名とし、10の総合評価については、外部評価委員の方のお名前を自己評価報告書に記載させていただきたいと思えます。

【評価尺度】

1	2	3	4	5	?
+	+	+	+	+	
まったく そう思わ ない	あまり そう思わ ない	どちらとも いえない	やや そう思う	まったく そう思う	資料だけでは 判断できない

MBA教育について

1. 教育の目的

- (1) 教育を行うに当たっての基本的な方針や、養成しようとする人材像を含めた、達成しようとする基本的な成果等が、明確に定められている。[]
- (2) 教育の目的が、教職員及び学生に周知されている。[]
- (3) 目的が、社会に広く公表されている。[]

2. 教育組織（実施体制）

- (1) 教育組織が教育の目的を達成する上で適切なものとなっている。[]
- (2) 教授会等が、教育活動に関わる重要事項を審議するための必要な活動を行っている。[]
- (3) 教育課程や教育方法等を検討する教務委員会等の組織が、適切な構成となっている。必要な回数の会議を開催し、実質的な検討が行われている。[]

3. 教員及び教育支援者

- (1) 教員組織編成のための基本方針を有しており、それに基づいた教員組織編成がなされている。[]
- (2) 教育を遂行するために必要な教員が確保されている。[]
- (3) 必要な専任教員が確保されている。[]
- (4) 学生の研究のために必要な研究指導教員及び研究指導補助教員が確保されている。[]
- (5) 教員組織の活動をより活性化するための適切な措置（例えば、年齢及び性別のバランスへの配慮、外国人教員の確保、任期制や公募制の導入など）が講じられている。[]
- (6) 教員の採用基準や昇格基準等が明確かつ適切に定められ、適切に運用されている。特に、教育上の指導能力の評価が行われている。[]
- (7) 教員の教育活動に関する定期的な評価が組織的に行われ、教員組織の編成への反映等、具体的かつ継続的な方策が講じられている。[]
- (8) 教育の目的を達成するための基礎として、教育内容等と関連する研究活動が行われている。[]
- (9) 教育上必要な事務職員が適切に配置されている。また、TA 等の教育補助者の活用が図られている。[]

4. 学生の受入

- (1) 教育の目的に沿って、求める学生像や入学者選抜の基本方針等が記載されたアドミッション・ポリシーが明確に定められ、公表、周知されている。[]
- (2) アドミッション・ポリシーに沿って適切な学生の受入方法が採用されており、実質的に機能している。[]
- (3) 入学者選抜が適切な実施体制により、公正に実施されている。
- (4) アドミッション・ポリシーに沿った学生の受入が実際に行われているかどうかを検証するための取り組みが行われており、その結果を入学者選抜の改善に役立っている。[]
- (5) 実入学者数が、入学定員を大幅に超える、又は大幅に下回る状況になっていないか。また、その場合には、これを改善するための取り組みが行われるなど、入学定員と実入学者数との関係の適正化が図られてる。[]

5. 教育内容及び方法（MBA）

- (1) 教育の目的や授与される学位に照らして、教育課程が体系的に編成されている。[]
- (2) 授業の内容が、全体として教育課程の編成の趣旨に沿ったものになっている。

- []
- (3) 授業の内容が、全体として教育の目的を達成するための研究の成果を反映したものとなっている。[]
 - (4) 単位の実質化（授業時間外の学習時間の確保，組織的な履修指導，履修科目の登録の上限設定など，学生の主体的な学習を促し，十分な学習時間を確保するような工夫）への配慮がなされている。[]
 - (5) 平日夜間や休日の講義を受講する学生に配慮した適切な時間割の設定等がなされている。[]
 - (6) 教育課程や教育内容の水準が，当該職業分野の期待にこたえるものになっている。[]
 - (7) 教育の目的に照らして，講義，演習等の授業形態の組合せ・バランスが適切であり，それぞれの教育内容に応じた適切な学習指導法の工夫がなされている（例えば，少人数授業，対話・討論型授業，フィールド型授業，多様なメディアを高度に利用した授業，情報機器の活用，TAの活用等が考えられる）。[]
 - (8) 教育課程の編成の趣旨に沿って適切なシラバスが作成され，活用されている。[]
 - (9) 教育課程の趣旨に沿った研究指導が行われている。[]
 - (10) 研究指導に対する適切な取り組み（例えば，複数教員による指導体制，研究テーマ決定に対する適切な指導，教育的機能の訓練等が考えられる）が行われている。[]
 - (11) 学位論文に係る指導体制が整備され，機能している。[]
 - (12) 教育の目的に応じた成績評価基準や修了認定基準が組織として策定され，学生に周知されている。[]
 - (13) 成績評価基準や修了認定基準に従って，成績評価，単位認定，修了認定が適切に実施されている。[]
 - (14) 学位論文に係る適切な審査体制が整備され，機能している。[]
 - (15) 成績評価等の正確性を担保するための措置が講じられている。[]

6. 教育の成果

- (1) 学生が身につける学力，資質・能力や養成しようとする人材像等についての方針が明らかにされており，その達成状況を検証・評価するための適切な取り組みが行われている。[]
- (2) 各学年や修了時等において学生が身につける学力や資質・能力について，単位修得，進級，修了の状況等から，あるいは，修了論文等の内容・水準から判断して，教育の成果や効果が上がっている。[]
- (3) 学生からの意見聴取の結果から見て，成果や効果が上がっている。[]

- (4) 教育の目的で意図している養成しようとする人材像等について、就職や進学といった修了後の進路の状況等の実績や成果について定量的な面も含めて判断し、教育の成果や効果が上がっている。〔 〕
- (5) 修了生や、就職先等の関係者からの意見聴取の結果から見て、教育の成果や効果が上がっている。〔 〕

7. 学生支援等および施設・設備

- (1) 授業科目や専門、所属ゼミナールの選択の再のガイダンスが適切に実施されている。〔 〕
- (2) 学習相談、助言（例えば、オフィスアワーの設定、電子メールの活用、担任制等が考えられる）が適切に行われている。〔 〕
- (3) 学習支援に関する学生のニーズが適切に把握されている。〔 〕
- (4) 特別な支援を行うことが必要と考えられる者（例えば、社会人学生、障害のある学生等が考えられる）への学習支援が適切に行える状況にある。また、必要に応じて学習支援が行われている。〔 〕
- (5) 自主的学習環境（例えば、自習室、グループ討論室、情報機器室等）が十分に整備され、効果的に利用されている。〔 〕
- (6) 学生のサークル活動や自治活動等の課外活動が、円滑に行われるよう、支援が適切に行われている。〔 〕
- (7) 学生の健康相談、生活相談、進路相談、各種のハラスメントの相談等のために、必要な相談・助言体制が整備され、機能している。〔 〕
- (8) 生活支援等に関する学生のニーズが適切に把握されている。〔 〕
- (9) 特別な支援を行うことが必要と考えられる者（例えば、留学生、編入学生、障害のある学生等が考えられる）への生活支援等が適切に行える状況にある。また、必要に応じて生活支援が行われている。〔 〕
- (10) 学生の経済面への援助（例えば、奨学金、授業料免除等が考えられる）が適切に行われている。〔 〕
- (11) 教育課程の実現にふさわしい施設・設備（例えば、講義室、演習室、情報処理学習施設、図書館など）が整備され、有効に活用されている。また、施設・設備のバリアフリー化への配慮がならせている。〔 〕
- (12) 教育内容、方法や学生のニーズを満たす情報ネットワークが適切に整備され、有効に活用されている。〔 〕
- (13) 施設・設備の運用に関する方針が明確に規定され、構成員にも周知されている。〔 〕
- (14) 図書、学術雑誌、視聴覚資料その他の教育上必要な資料が系統的に整備され、有効に活用されている。〔 〕

8. 教育の質の向上及び改善のためのシステム

- (1) 教育の状況について、活動の実態を示すデータや資料を適切に収集し、蓄積している。[]
- (2) 学生の意見の聴取（例えば、授業評価、満足度評価、学習環境評価等が考えられる）が行われており、教育の状況に関する自己点検・評価に適切な形で反映されている。[]
- (3) 学外関係者（例えば、修了生、就職先等の関係者等が考えられる）の意見が、教育の状況に関する自己点検・評価に適切な形で反映されている。[]
- (4) 評価結果がフィードバックされ、教育の質の向上、改善のための取り組みが行われ、教育課程の見直しの具体的かつ継続的な方策が講じられている。[]
- (5) 個々の教員は、評価結果に基づいて、それぞれの質の向上を図るとともに、授業内容、教材、教授技術等の継続的改善を行っている。[]
- (6) ファカルティ・ディベロップメントについて、学生や教職員のニーズが反映されており、組織として適切な方法で実施されている。[]
- (7) ファカルティ・ディベロップメントが、教育の質の向上や授業の改善に結びついている。[]
- (8) 教育支援者や教育補助者に対して、教育活動の向上を図るための研修等、その資質の向上を図るための取り組みが適切になされている。[]

9. 項目ごとのコメント

- (1) 以下の項目のうち、すぐれていると思われる項目すべてに○をつけて、
 - a) そう思われる理由、b) そのすぐれている点をさらによくするためのご意見やアイデアを記述してください。
- 1 教育の目的 2 教育組織（実施体制） 3 教員及び教育支援者
- 4 学生の受け入れ 5 教育内容及び方法 6 教育の成果
- 7 学生支援等および施設・設備 8 教育の質の向上及び改善のためのシステム

[]

(2) 以下の項目のうち、改善を要すると思われる項目すべてに○をつけて、
a) そう思われる理由、b) どのように改善すればよいか、ご意見やアイデアを
記述してください。

- | | | |
|-----------------|-----------------------|-------------|
| 1 教育の目的 | 2 教育組織（実施体制） | 3 教員及び教育支援者 |
| 4 学生の受け入れ | 5 教育内容及び方法 | 6 教育の成果 |
| 7 学生支援等および施設・設備 | 8 教育の質の向上及び改善のためのシステム | |

()

10. 総合評価（項目ごとの達成状況をふまえて、総合評価をお願いします。特定の項目についてのコメントは、上記の項目ごとの評価欄にご記入ください）

()

外部評価委員名 _____

外部評価回答用紙

同封致しました資料，（お時間があればホームページ（<http://www.b.kobe-u.ac.jp/>）所収の情報）及び外部評価委員会当日の質疑応答を踏まえて，以下の項目に関して達成の程度について5段階でお答え下さい。資料から判断できない項目に関しては，「資料からは判断できない」（回答欄には，「？」と記入）としてください。

補足のコメントがございましたら，コメント欄にご記入ください。

なお，自己評価報告書への掲載方法として，研究についての項目 1～6 を匿名とし，7 の総合評価については，外部評価委員の方のお名前を自己評価報告書に記載させていただきたいと思えます。

【評価尺度】

1	2	3	4	5	?
+	+	+	+	+	
まったく そう思わ ない	あまり そう思わ ない	どちらとも いえない	やや そう思う	まったく そう思う	資料だけでは 判断できない

研究について

1. 研究の実施体制及び支援・推進体制が適切に整備され，機能している。[]
2. 研究活動に対する施策が適切に定められ，実施されている。[]
3. 研究活動の質の向上のために研究活動の状況を検証し，問題点を改善するための取り組みが組織的に行われている。[]
4. 研究活動の実施状況から見て，研究活動が活発に行われている。
 - 研究出版物（国内査読論文）[]
 - 研究出版物（国内査読なし論文）[]
 - 研究出版物（海外査読論文）[]
 - 研究出版物（海外査読なし論文）[]

- 研究出版物（国内書籍）〔 〕
- 研究出版物（海外書籍）〔 〕
- 研究発表（国内）〔 〕
- 研究発表（海外）〔 〕
- その他の成果物（報告書，雑誌出版，エッセイ等）の公表〔 〕
- 国内の大学・研究機関との共同研究〔 〕
- 海外の大学・研究機関との共同研究〔 〕
- 産学官連携〔 〕
- 地域との連携〔 〕
- 競争的資金への獲得状況〔 〕
- 上記のすべてを総合的に評価して〔 〕

5. 研究活動の成果の質を示す実績から見て，研究の質が確保されている。

- 受賞状況〔 〕
- 競争的研究資金の獲得状況〔 〕
- 上記のすべてを総合的に評価して〔 〕

6. 社会・経済・文化の領域における研究成果の活用状況や関連組織・団体からの評価等からみて，社会・経済・文化の発展に資する研究が行われている。〔 〕

7. コメント（総合的評価）

外部評価委員名 _____